

資本政策の基本方針

当社は、企業価値および株主利益の持続的かつ中長期的な向上に向けて「成長性」「収益性」「株主還元」「財務健全性」のバランスを考慮し、資本政策を推進してまいります。

1. 成長性

確実かつ持続的な成長に向けて、事業機会を適確に捉え、資本効率の良い『成長性』『収益性』の高い事業に投資を行ってまいります。

2. 収益性

自己資本利益率（ROE）を中長期的な企業価値に関わる指標として捉え、資本効率を意識しつつ、中期的には10%、将来的には20%を目指してまいります。

3. 株主還元

株主に対する利益還元を重要な経営課題であると認識しており、財務状態、経営成績等の状況を勘案し、利益還元政策を決定してまいります。

一方で、現在の状況としては未だ成長過程にあるものと認識しており、当面は内部留保の充実に努めるとともに、事業拡大のための投資などに充当していくことを優先し、企業価値および株主利益の向上を図ってまいります。

4. 財務健全性

持続的な成長と経営の安定性を担保するため、戦略的な成長投資や突発的リスクへの備えを行うとともに、適正な株主資本の水準を確保することで財務の健全性を維持してまいります。

5. 資本政策の実施

支配権の変動や大規模な希釈化をもたらす資本政策を実施する際には、財務への影響、既存株主への影響などを考慮した上で、取締役会においてその『必要性』『合理性』を十分に審議し決議をするとともに、株主に対して十分な説明を行ってまいります。

以上